

**令和 7 年度林野庁補助事業「スマート林業機械・機器の技術開発」
の助成事業の実施者を決定**

□ 本事業の趣旨

新たな国際環境の下で急激な木材需要の変化に対応可能な原木供給力の強化を図るため、スマート林業機械・機器の技術開発の取組への支援を行う。

□ 事業の内容

スマート林業機械・機器の技術開発として、次の取組について支援を行う。

- ・ 林業の安全性や生産性の向上に向けた伐倒・集材等の素材生産や造林作業の自動化・遠隔操作化等に向けた林業機械の開発・実証
- ・ 事業規模での実証・改良
- ・ 森林作業の安全性・生産性の向上に資するソフトウェア・機器の開発・実証
- ・ 森林内の通信環境の確保に向けた通信技術・機器等の開発・実証等

■ 助成事業の実施者と取組のテーマ

助成事業の実施者	取組のテーマ
松本システムエンジニアリング(株) 久大林産(株)	遠隔式伐倒作業車の改良および植栽アタッチメントの開発・実証
ソフトバンク(株)	RTK を活用した植栽支援モビリティ連携技術の開発・実証
イワフジ工業(株) (株)中井林業	安全機能付き自動集材・造材マルチワークシステムの開発・実証
合同会社ビスペル	造林 ICT と連動した植栽自動穿孔のブラッシュアップ開発

※ 本事業は、令和 7 年度の補正予算の事業であり予算を繰越して 8 年度末まで事業を実施します。